NRU

こくろうよなご

号　外
２０２６年１月１日
発行責任者　倉下文明
編　　集　教宣部

つくろう職場に労働運動を！　ひろげよう闘いを　職場に、地域に、全国に！

自粛・萎縮してないか！ 仲間と進もう 一歩前に！

執行委員長　倉下　文明

組合員・ご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。米子地本執行委員会を代表して、新年のご挨拶をさせて頂きます。

二〇年目の日を迎えて

本年１月２４日は、３名の仲間の尊い生命が奪われた「伯備線触車事故」から２０年目の日を迎えます。

節目の年を迎えるにあたり、改めて「事故の悲惨さと教訓」を継承していく決意を表明したいと思います。

昨年６月、会社幹部のパワハラ問題が明るみになりました。「大雪による京都線での超時間にわたる立往生の検証会議」での出来事だと言われていますが、一部幹部社員の資質の問題だけではなく、「安全・サービスの責任が現場社員に過度に追わされている」職場の状況の縮図を見ているように感じました。

現在、職種を問わず効率化施策が矢継ぎ早に進められています。その中で、不満や疑問に思うことがあっても、「安全のため」「サービスのため」と言われると、思いを口に出すことが出来なくなってないでしょうか。

育児や介護、そして、様々な事情を抱える人ほど、「会社に目を付けられたくない」など考え、萎縮をさせられてはないでしょうか。

会社の掲ている「心理的に安全な職場」には、まだまだ多くの課題があると言わざるを得ません。

「何でも言える」風通しがよく、誰もが安心して働ける職場づくりに奮闘していこうではありませんか。

賃金は労使の力関係！

２５春闘では、西日本会社発足後最高額となる賃上げに驚いたのも束の間、その後も止むことない物価高を前に、多くの仲間の皆さんが「これでは生活改善にはとても至らない」と感じているのではないでしょうか。この数十年間の、物価は変わらない、あるいは下がる中での春闘とは異なり、今後も続くであろう物価高を前提とした春闘の闘い方へと転換させていかなければなりません。「将来的な物価高の予測は難しい」では、結局のところ、私たち労働者が我慢をさせられるだけではないかと考えます。

西日本会社の第２四半期決算では、万博・インバウンド効果により、過去２番目の営業利益を上げ、通期予想についても上方修正を行い、組合の求めに応じて「一時金」が支払われてきました。２６春闘では、企業物価の高騰などによる先行きの不透明感を前面に押し出してくると思われますが、企業の経営状況に左右されてばかりでは、持続的な賃上げの流れを作ることは出来ません。

「賃金は労働力の再生産費であり、労使の力関係で決まる」という原則に立ち返り、２６春闘を精一杯闘い抜こうではありませんか。

負の連鎖を見過ごすな！

昨年１１月、米子地方本部は「木次線を守る統一行動」として、沿線自治体との意見交換・住民アンケート・チラシ配布を取り組んできました。自治体職員の方々のお話やアンケートからは、木次線の廃線とそれに伴い過疎化が進行していくことへの危機感をひしひしと感じてきたところです。

「東京一極集中と過疎化」の問題が叫ばれて久しくなりますが、解消に向かうどころか、将来的には少なくない自治体が消滅するとも言われています。医療・介護・育児・教育などの社会インフラと同じように、公共交通は生活するうえで無くてはならないものだと考えます。

一部区間がはぎ取られ、廃線が拡大していく、そんな負の連鎖を黙って見過ごすわけにはいきません。

地域住民の方々の移動の権利を守り、生活を守る事が、私たち公共交通に携わる労働組合に与えられた使命でもあると考えます。

引き続き現地に入り、声を聴きながら、地方交通線を守る取り組みを強化していきたいと思います。

次世代へのツケ回し！

昨年１０月の浜田市議会選挙では、組織内候補の「小川稔宏」氏が立候補、多くの新人が出馬するなど、大変厳しい選挙戦を勝ち抜き、見事４選を果たすことが出来ました。３期１２年、労働者・生活者の立場からの熱心な活動の賜物に他なりません。本年５月の江津市議会選挙には、「植田好雄」組織内候補が立候補の決意を固めておられます。

３度議会へと送り出すため、組織の総力を挙げ取り組んでまいります。

国政に目を向けると、１０月に発足した高市内閣は、「台湾有事」を巡る発言をはじめ、タカ派的な言動で他国との緊張を高め、一方での財源なき減税は「次世代へのツケ回し」であると言わざるを得ません。来る解散総選挙では、鳥取第２選挙区の「湯原俊二」候補、島根１区の「亀井亜紀子」衆議員議員、島根２区の「大塚聡子」候補の当選に向け全力で取り組みます。

組織拡大に全力投球！

昨年４月、米子地方本部では初めてとなるＪＲ採用者の加入がありました。加入頂いた仲間の勇気と決意に頭の下がる思いでいます。

引き続き、私たち国労の最重要課題である「組織拡大」を一歩も二歩も前進させる年にしようではありませんか。本年４月の中国地本の発足に合わせて、米子地方本部は地区本部へと組織の見直しを行います。

新組織移行へのご協力をお願いする次第です。

最後に、組合員・ご家族の健康とご活躍を祈念し、新年の挨拶と致します。

地本執行部一同

執行委員長	倉下文明
執行副委員長	藤江美男
書記長	吾郷隆志
執行委員	笹木文彦
執行委員	青柳利寿
執行委員	村口政生
会計監査	藤原輝明
会計監査	中原昭彦
書　記	宮井明恵

本年も宜しくお願い致します。